

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

解熱鎮痛薬 敬震丹 **第②類医薬品****⚠️ 使用上の注意****❌ してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないこと**4. 長期連用しないこと****相談すること****1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること**

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(3) 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）

(4) 高齢者

(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(6) 次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性 発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3.5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能又は効果

頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱

用法及び用量

1日2回を限度とし、次の量をなるべく空腹時を避けて服用する。服用間隔は6時間以上おくこと。

15才以上（大人）…………… 1回1包
 11才以上15才未満…………… 1回2/3包
 7才以上11才未満…………… 1回1/2包
 3才以上7才未満…………… 1回1/3包
 3才未満…………… 服用しないこと

〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 3才未満の乳幼児に服用させないこと。

成分及び分量 1日量（2包）中

エテンザミド400mg、アセトアミノフェン600mg、無水カフェイン100mg、カノコソウ末500mg
 添加物として、軽質無水ケイ酸、アマチャ末、カンゾウ末、d-ボルネオール、タール色素赤色3号を含有する。

（1包量950mg）

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
- (5) 期限の過ぎたものは、服用しないこと。

【お問い合わせ先】

製造販売元 **渡辺薬品工業株式会社**
 富山市水橋北馬場1番7
 TEL (076) 479-9123

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931